

平成22年8月期 第1四半期決算短信

平成22年1月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 コシダカ

コード番号 2157 URL <http://www.koshidaka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長

(氏名) 酒井 幹雄

TEL 027-280-3381

四半期報告書提出予定日 平成22年1月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第1四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第1四半期	4,756	42.9	251	—	250	—	68	—
21年8月期第1四半期	3,329	—	△210	—	△212	—	△268	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年8月期第1四半期	2,874.84	—
21年8月期第1四半期	△11,205.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年8月期第1四半期	10,233	2,732	26.4	112,570.54
21年8月期	10,514	2,699	25.5	111,644.56

(参考) 自己資本 22年8月期第1四半期 2,701百万円 21年8月期 2,679百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年8月期	—	1,900.00	—	1,900.00	3,800.00
22年8月期	—	—	—	—	—
22年8月期(予想)	—	2,900.00	—	2,900.00	5,800.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期	10,444	20.1	874	65.2	842	94.2	236	42.2	9,833.29
連結累計期間	22,018	16.2	2,327	55.7	2,268	57.1	749	36.3	31,214.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第1四半期	24,000株	21年8月期	24,000株
② 期末自己株式数	22年8月期第1四半期	一株	21年8月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年8月期第1四半期	24,000株	21年8月期第1四半期	24,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国発の国際金融市場の混乱と世界的な景気の後退によりもたらされた輸出の不振と株価の低迷及び企業収益の大幅な縮小に対して、政府主導の財政による後押しが試みられたものの、景気回復の道筋をつけるには至りませんでした。また財政面での余裕の無さから生じる社会保障制度の将来への不安と景気刺激策の息切れに対する懸念は、消費者の生活防衛意識と節約志向を助長し、消費者物価の下落効果も活かされぬまま、個人消費の低迷は続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第1四半期連結会計期間における売上高は47億56百万円（前年同四半期比42.9%増）、営業利益は2億51百万円（前年同四半期は営業損失2億10百万円）、経常利益は2億50百万円（前年同四半期は経常損失2億12百万円）、四半期純利益は68百万円（前年同四半期は四半期純損失2億68百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

①カラオケ事業

カラオケボックス業界は、娯楽産業全体の伸び悩みと消費者の娯楽ニーズの多様化により経営環境は厳しさを増しつつあり、中堅チェーンや小規模カラオケ店の廃業・閉店が続く一方で、大手チェーン同士の競合の激しさは増しております。

こうした経済情勢と事業環境を踏まえて、店舗の標準化・効率化・投資額抑制を追求するために「建築出店方式」の質的向上を常に図りつつ出店を行い、「居抜き出店方式」による出店と組み合わせることで店舗網の整備を図り、更に「建築出店方式」の質的向上で得た様々なノウハウを活用して設備・営業の両面での既存店リニューアルを積極的に行い、チェーン全体のブラッシュアップを推進してまいりました。また、閑散月である10月から11月にかけて期間限定で「感激！元気かんげん（還元）フェア」を行い、集客に努めました。

当第1四半期連結会計期間において、3店舗の開店（居抜き出店2店舗、建築出店1店舗）、1店舗の閉鎖及び15店舗のリニューアルを行いました。この結果期末時点の店舗数は、「カラオケ本舗まねきねこ」が294店舗、都市型新業態店舗を加えた全体では296店舗となりました。

以上により、当第1四半期連結会計期間におけるカラオケ事業の売上高は35億68百万円（前年同四半期比8.7%増）、営業利益は1億29百万円（前年同四半期は営業損失2億12百万円）となりました。

②カーブス事業

カーブス事業は、FC本部としてFC加盟事業者の新規開拓と多店舗展開支援、既存加盟店の業績向上のための会員増強プログラムの導入と会員増強運動の支援、顧客満足度向上のための店舗スタッフの集合研修などを行い、FC加盟事業者としては新規出店に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結会計期間において、加盟店舗数は22店舗増加（内株式会社北海道コシダカ運営店舗1店舗増加）し、期末時点では776店舗となりました。加盟会員数は27千人増加し281千人となりました。

また、株式会社カーブスジャパンが前第1四半期連結会計期間末より連結子会社となったため、同社の損益は前第1四半期連結会計期間では取り込まれておりません。

以上により、当第1四半期連結会計期間におけるカーブス事業の売上高は11億87百万円（前年同四半期比2,500.7%増）、営業利益は1億22百万円（前年同四半期比7,120.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて2億81百万円減少し102億33百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2億56百万円減少し34億60百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の3億24百万円の減少と受取手形及び売掛金の48百万円の増加などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて25百万円減少し67億72百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物の66百万円の増加及びのれんの償却による75百万円の減少などによるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2億88百万円減少し43億10百万円となりました。主な要因は、短期借入金の2億5百万円の増加、未払法人税等の3億96百万円の減少および賞与引当金の63百万円の減少などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて27百万円減少し31億89百万円となりました。主な要因は、長期借入金の20百万円の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて33百万円増加し27億32百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の23百万円の増加などによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して4億16百万円減少して19億11百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における営業活動の結果使用した資金は1億49百万円（前年同四半期比1億20百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益2億15百万円、減価償却費3億15百万円及びのれん償却額75百万円などによる収入があった一方で、法人税等の支払額5億2百万円などによる支出があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における投資活動の結果使用した資金は3億52百万円（前年同四半期比21億39百万円の減少）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1億91百万円、定期預金の預入による支出92百万円及び貸付による支出55百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動の結果獲得した資金は85百万円（前年同四半期比27億9百万円の減少）となりました。これは、短期借入金の純増2億5百万円、長期借入れによる収入2億89百万円及び長期借入金の返済による支出3億37百万円などによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間の業績が概ね予想通りに推移しているため、平成21年10月14日に公表した業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②法人税等の算定方法

法人税等の算定方法は、課税所得の計算における加減算項目及び税額控除項目を、重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,205,688	2,530,395
受取手形及び売掛金	396,839	347,884
商品	168,278	161,949
原材料及び貯蔵品	103,039	96,820
その他	591,896	585,047
貸倒引当金	△4,871	△4,750
流動資産合計	3,460,870	3,717,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,341,155	2,274,316
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	1,234,678	1,275,021
土地	503,816	503,816
リース資産(純額)	103,988	110,247
有形固定資産合計	* 4,183,638	* 4,163,401
無形固定資産		
のれん	1,207,801	1,283,288
ソフトウェア	220,727	229,668
その他	4,065	4,065
無形固定資産合計	1,432,594	1,517,022
投資その他の資産		
敷金及び保証金	817,300	814,503
その他	344,294	305,350
貸倒引当金	△5,659	△2,700
投資その他の資産合計	1,155,935	1,117,154
固定資産合計	6,772,167	6,797,579
資産合計	10,233,038	10,514,927
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	372,465	366,008
短期借入金	373,400	168,000
1年内返済予定の長期借入金	1,151,068	1,178,736
リース債務	26,288	26,288
未払法人税等	104,766	501,750
賞与引当金	72,931	136,222
預り金	844,685	798,079
その他	1,364,817	1,423,375
流動負債合計	4,310,421	4,598,461
固定負債		
長期借入金	3,084,004	3,104,390
リース債務	82,898	89,470
その他	23,088	23,337
固定負債合計	3,189,990	3,217,198
負債合計	7,500,412	7,815,660

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	493,600	493,600
資本剰余金	483,600	483,600
利益剰余金	1,726,000	1,702,604
株主資本合計	2,703,200	2,679,804
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,507	△335
評価・換算差額等合計	△1,507	△335
少数株主持分	30,933	19,797
純資産合計	2,732,626	2,699,267
負債純資産合計	10,233,038	10,514,927

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
売上高	※1 3,329,453	4,756,208
売上原価	3,042,679	3,604,220
売上総利益	286,773	1,151,987
販売費及び一般管理費	※2 497,544	※ 900,137
営業利益又は営業損失(△)	△210,770	251,850
営業外収益		
受取利息	202	209
受取配当金	7	3
協賛金収入	10,242	9,767
その他	5,301	9,333
営業外収益合計	15,754	19,314
営業外費用		
支払利息	12,324	12,591
その他	5,426	8,454
営業外費用合計	17,750	21,045
経常利益又は経常損失(△)	△212,767	250,119
特別利益		
固定資産売却益	16	785
特別利益合計	16	785
特別損失		
固定資産売却損	—	67
固定資産除却損	—	32,967
減損損失	46,192	2,503
その他	7,251	—
特別損失合計	53,444	35,538
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△266,195	215,366
法人税、住民税及び事業税	9,621	96,474
法人税等調整額	△6,893	38,760
法人税等合計	2,728	135,235
少数株主利益	—	11,135
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△268,923	68,996

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△266,195	215,366
減価償却費	301,409	315,443
減損損失	46,192	2,503
のれん償却額	—	75,487
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,108	△63,291
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,580	3,080
受取利息及び受取配当金	△209	△213
支払利息	12,324	12,591
有形固定資産売却損益(△は益)	△16	△718
売上債権の増減額(△は増加)	2,191	△48,955
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,281	△12,546
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,878	7,861
その他	102,565	△144,743
小計	199,630	361,867
利息及び配当金の受取額	202	198
利息の支払額	△18,521	△9,126
法人税等の支払額	△210,224	△502,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,913	△149,543
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△419,783	△191,830
有形固定資産の売却による収入	200	747
無形固定資産の取得による支出	△5,780	△8,898
子会社株式の取得による支出	△1,737,454	—
敷金及び保証金の差入による支出	△26,565	△14,242
敷金及び保証金の回収による収入	2,313	7,210
貸付けによる支出	—	△55,188
貸付金の回収による収入	—	2,345
定期預金の増減額(△は増加)	△302,107	△92,107
その他	△2,604	△232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,491,780	△352,195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,041,000	205,400
長期借入れによる収入	1,100,000	289,000
長期借入金の返済による支出	△240,155	△337,054
リース債務の返済による支出	—	△6,572
配当金の支払額	△86,400	△45,600
担保提供預金の増減額(△は増加)	—	239
その他	△20,000	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,794,445	85,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△250
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	273,751	△416,576
現金及び現金同等物の期首残高	768,187	2,327,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 1,041,938	* 1,911,147

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日）

カラオケ事業の売上高及び営業損失の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日）

	カラオケ事業 (千円)	カーブス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,568,233	1,187,975	4,756,208	—	4,756,208
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	58	58	(58)	—
計	3,568,233	1,188,033	4,756,266	(58)	4,756,208
営業利益	129,102	122,748	251,850	(—)	251,850

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な商品又は役務の名称

事業区分	主要商品又は役務の名称
カラオケ事業	カラオケボックス店舗の運営
カーブス事業	フィットネスフランチャイズの運営 フィットネスクラブ店舗の運営

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。